

インフルエンザ

2012年1月 院長 大坪 哲雄

インフルエンザに注意

首都圏では昨年未より、現在まで（1月18日現在）雨が一滴も降らず乾燥した日が続いております。乾燥注意報は34日で史上3番目の長さです。乾燥の為、インフルエンザの流行も多くみられ、学級閉鎖も増加傾向にあります。インフルエンザは予防すべき感染症の第二種に分類されております。出席停止の期間の基準は、解熱した後2日を経過するまでとなっております。但し症状により学校医その他の医師において、その感染症の予防上支障がないと認められた時はこの限りでないとなっております。